

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	ぴあ株式会社
【英訳名】	PIA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢内 廣
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	執行役員主計局長 眞子 祐一
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号
【電話番号】	03（5774）5292
【事務連絡者氏名】	執行役員主計局長 眞子 祐一
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期連結 累計期間	第39期 第2四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	48,747,905	47,938,077	92,664,776
経常利益又は経常損失() (千円)	16,866	118,225	30,824
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	91,644	130,475	92,409
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	88,903	128,046	88,793
純資産額(千円)	3,900,460	3,772,304	3,900,350
総資産額(千円)	19,547,097	19,931,180	22,974,547
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	6.51	9.27	6.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	19.8	18.7	16.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	500,427	3,856,936	4,636,896
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	222,401	305,789	593,863
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	329,584	202,114	61,647
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	5,340,534	5,536,007	9,496,751

回次	第38期 第2四半期連結 会計期間	第39期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	4.96	15.42

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第38期第2四半期連結累計期間及び第38期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第39期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第38期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い企業の生産活動や個人消費に改善の兆しが見られた一方で、原子力災害の影響や電力供給に加え、欧州の金融不安や長期化する円高の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

また、国内レジャー・エンタテインメント市場においても、復興に向けたチャリティーイベントの開催等、一部に回復の兆しが見られたものの、震災の影響によるイベントの開催中止・延期が相次ぐなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、震災により、メディア・コンテンツ事業において、レジャー関連商品を中心とした販売・広告収入の減少などの影響を受けており、一部チケット販売の回復が見られたことや前期に断行した各種構造改革及びコスト削減による効果が発現したものの、売上・利益とも前年同期を下回っております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高479億38百万円(対前年同期比98.3%)、営業損失1億4百万円(対前年同期比1億22百万円悪化)、経常損失1億18百万円(対前年同期比1億35百万円悪化)、四半期純損失1億30百万円(対前年同期比2億22百万円悪化)となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[ライブ・エンタテインメント関連事業]

チケット販売は、国内ポップス系の大型興行、韓流イベント、関西エリアでの販売においては比較的好調に推移したものの、スポーツ・レジャー関連においては震災の影響を受けております。一方、お客様の利便性の向上や購買行動の促進を図ってきたインターネットでのチケット販売は、震災後も順調に拡大しており「ぴあ会員」は、9月末に922万人（前期末831万人、前々期末709万人）に達しております。その結果、売上高は457億72百万円（対前年同期比99.2%）、営業利益は4億15百万円（対前年同期比54百万円増加）となりました。

[メディア・コンテンツ事業]

出版販売や広告市場が厳しい状況にあるなかで、引き続き、編集・製作コストの削減や配本の効率化による収益性の改善を図っておりますが、当第2四半期連結累計期間においては、震災の影響を受けるかたちで前期末に発刊した不定刊誌の返本の増加や発刊点数の減少、加えてレジャー関連MOOK本の販売減少を余儀なくされました。また、この間進めてきた構造改革の一環として、昭和47年7月に創刊し39年にわたり発行してまいりました情報誌「ぴあ」（首都圏版）を平成23年7月21日発売をもって休刊しております。その結果、売上高は21億19百万円（対前年同期比83.8%）、営業損失は1億50百万円（対前年同期比1億92百万円悪化）となりました。

なお、当社は、平成23年10月25日にWEB・雑誌・店舗を連動させたユーザー参加型の新しいビジネスモデルの創出を目的とした「ウレぴあ」（情報サイト「ウレぴあ総研」・月刊誌「ウレぴあ」）を開始いたしました。本サービスは、これまで情報誌「ぴあ」と「チケットぴあ」を通じて培ったノウハウを最大限に活用して、映画・音楽・スポーツ・レジャーだけでなくエンタテインメント性のある商品やサービスまでをフォーカスした新たな市場の開拓を目指してまいります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して39億60百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は55億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは38億56百万円の支出(前年同四半期は5億円の収入)となりました。この主要因は、売上債権の増加が10億8百万円、仕入債務の減少が30億5百万円及び減価償却費が7億51百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億5百万円の支出(前年同四半期は2億22百万円の支出)となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出1億36百万円、無形固定資産の取得による支出1億34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億2百万円の収入(前年同四半期は3億29百万円の支出)となりました。この主要因は、長期借入れによる収入6億円、長期借入金の返済による支出3億96百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

重要な変更等はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
A種優先株式	3,000,000
B種優先株式	3,000,000
C種優先株式	3,000,000
D種優先株式	3,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,092,913	14,092,913	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は、100 株であります。
計	14,092,913	14,092,913	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	14,092,913	-	4,239,158	-	-

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
矢内廣	東京都港区	2,900	20.58
株式会社セブン&アイ・ ホールディングス	東京都千代田区二番町8-8	1,409	10.00
凸版印刷株式会社	東京都台東区台東1丁目5番1号	1,087	7.72
株式会社セブン&アイ・ ネットメディア	東京都千代田区二番町8番地8	704	5.00
株式会社セブン・イレブン・ ジャパン	東京都千代田区二番町8番地8	704	5.00
斎藤廣一	東京都港区	626	4.44
株式会社経営共創基盤	東京都千代田区神田練堀町3	481	3.42
林和男	東京都渋谷区	476	3.38
株式会社ピー・エス	東京都港区六本木1丁目3-39	445	3.16
矢内アセットマネジメント株 式会社	東京都港区六本木1丁目3-39	322	2.28
計	-	9,158	64.99

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 22,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,067,900	140,679	-
単元未満株式	普通株式 2,613	-	-
発行済株式総数	14,092,913	-	-
総株主の議決権	-	140,679	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式72株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
びあ株式会社	東京都渋谷区東一丁目 2番20号	22,400	-	22,400	0.15
計	-	22,400	-	22,400	0.15

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,496,751	5,536,007
受取手形及び売掛金	7,965,425	8,974,374
商品及び製品	74,379	53,856
仕掛品	19,952	1,704
原材料及び貯蔵品	6,103	6,771
その他	778,148	1,350,409
貸倒引当金	27,132	38,721
流動資産合計	18,313,628	15,884,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	164,797	151,075
工具、器具及び備品(純額)	159,122	143,736
土地	6,240	6,240
その他(純額)	9,780	7,987
有形固定資産合計	339,940	309,039
無形固定資産		
のれん	12,382	10,334
ソフトウェア	3,075,184	2,494,765
ソフトウェア仮勘定	41,810	7,902
その他	61,916	61,523
無形固定資産合計	3,191,293	2,574,526
投資その他の資産		
投資有価証券	323,232	357,146
その他	1,185,146	1,151,608
貸倒引当金	378,692	345,542
投資その他の資産合計	1,129,685	1,163,212
固定資産合計	4,660,919	4,046,778
資産合計	22,974,547	19,931,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,507,224	11,501,766
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	788,000	932,760
未払金	915,828	563,770
未払法人税等	28,679	28,751
賞与引当金	3,728	4,081
返品調整引当金	298,000	242,000
その他	1,137,686	1,425,024
流動負債合計	17,879,148	14,898,154
固定負債		
長期借入金	620,000	679,240
退職給付引当金	63,728	66,030
役員退職慰労引当金	100,530	99,367
資産除去債務	59,248	59,608
その他	351,540	356,474
固定負債合計	1,195,048	1,260,721
負債合計	19,074,197	16,158,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,239,158	4,239,158
資本剰余金	402,670	402,670
利益剰余金	697,815	828,291
自己株式	61,356	61,356
株主資本合計	3,882,656	3,752,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	2,642
為替換算調整勘定	23,067	23,190
その他の包括利益累計額合計	21,696	20,548
少数株主持分	39,390	40,671
純資産合計	3,900,350	3,772,304
負債純資産合計	22,974,547	19,931,180

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	48,747,905	47,938,077
売上原価	44,873,053	44,025,654
売上総利益	3,874,851	3,912,423
返品調整引当金戻入額	278,000	298,000
返品調整引当金繰入額	247,000	242,000
差引売上総利益	3,905,851	3,968,423
販売費及び一般管理費	1 3,886,966	1 4,072,433
営業利益又は営業損失 ()	18,885	104,009
営業外収益		
受取利息	342	169
受取配当金	3,137	2,532
持分法による投資利益	8,602	12,698
その他	5,453	1,068
営業外収益合計	17,536	16,468
営業外費用		
支払利息	16,852	15,235
災害損失	-	14,316
その他	2,702	1,132
営業外費用合計	19,554	30,684
経常利益又は経常損失 ()	16,866	118,225
特別利益		
投資有価証券売却益	134,329	-
貸倒引当金戻入額	58,970	-
その他	1,000	-
特別利益合計	194,300	-
特別損失		
固定資産除却損	67	-
投資有価証券評価損	12,735	-
特別退職金	34,435	-
業務委託契約解約違約金	48,987	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,997	-
特別損失合計	109,223	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	101,944	118,225
法人税、住民税及び事業税	9,294	13,497
法人税等調整額	892	2,527
法人税等合計	10,187	10,969
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	91,757	129,194
少数株主利益	112	1,280
四半期純利益又は四半期純損失 ()	91,644	130,475

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	91,757	129,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,748	1,271
為替換算調整勘定	105	123
その他の包括利益合計	2,853	1,148
四半期包括利益	88,903	128,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,791	129,326
少数株主に係る四半期包括利益	112	1,280

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	101,944	118,225
減価償却費	678,955	751,887
のれん償却額	1,080	2,047
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,622	2,302
特別退職金	34,435	-
受取利息及び受取配当金	3,479	2,702
支払利息	16,852	15,235
投資有価証券評価損	12,735	-
投資有価証券売却損益(は益)	134,329	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,997	-
有形及び無形固定資産除却損	67	-
業務委託契約解約違約金	48,987	-
売上債権の増減額(は増加)	2,284,040	1,008,949
たな卸資産の増減額(は増加)	4,974	38,103
仕入債務の増減額(は減少)	1,943,602	3,005,458
未払金の増減額(は減少)	293,244	185,800
前受金の増減額(は減少)	393,602	346,147
前渡金の増減額(は増加)	414,525	552,622
その他	241,907	109,131
小計	564,206	3,827,164
利息及び配当金の受取額	4,229	2,702
利息の支払額	16,667	15,512
役員退職慰労金の支払額	-	834
特別退職金の支払額	34,435	-
法人税等の支払額	17,815	16,126
法人税等の還付額	909	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	500,427	3,856,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	51,385	-
有形固定資産の取得による支出	-	136,219
無形固定資産の取得による支出	426,392	134,197
投資有価証券の取得による支出	-	20,000
投資有価証券の売却による収入	165,678	-
長期前払費用の取得による支出	-	254
その他	13,072	15,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	222,401	305,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	328,800	396,000
自己株式の取得による支出	11	-
その他	772	1,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	329,584	202,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	355	132
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	51,914	3,960,743
現金及び現金同等物の期首残高	5,392,448	9,496,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,340,534 ₁	5,536,007 ₁

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																						
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">販売手数料</td> <td style="text-align: right;">603,769千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当及び賞与</td> <td style="text-align: right;">1,426,651千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,476千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">102,590千円</td> </tr> <tr> <td>業務委託費</td> <td style="text-align: right;">308,618千円</td> </tr> </table>	販売手数料	603,769千円	給与手当及び賞与	1,426,651千円	賞与引当金繰入額	2,476千円	退職給付費用	102,590千円	業務委託費	308,618千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">販売手数料</td> <td style="text-align: right;">765,573千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">12,242千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当及び賞与</td> <td style="text-align: right;">1,422,140千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,643千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">99,836千円</td> </tr> <tr> <td>業務委託費</td> <td style="text-align: right;">288,996千円</td> </tr> </table>	販売手数料	765,573千円	貸倒引当金繰入額	12,242千円	給与手当及び賞与	1,422,140千円	賞与引当金繰入額	2,643千円	退職給付費用	99,836千円	業務委託費	288,996千円
販売手数料	603,769千円																						
給与手当及び賞与	1,426,651千円																						
賞与引当金繰入額	2,476千円																						
退職給付費用	102,590千円																						
業務委託費	308,618千円																						
販売手数料	765,573千円																						
貸倒引当金繰入額	12,242千円																						
給与手当及び賞与	1,422,140千円																						
賞与引当金繰入額	2,643千円																						
退職給付費用	99,836千円																						
業務委託費	288,996千円																						

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)												
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">5,340,534</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,340,534</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	5,340,534	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	現金及び現金同等物	5,340,534	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">5,536,007</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,536,007</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	5,536,007	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	現金及び現金同等物	5,536,007
現金及び預金勘定	5,340,534												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-												
現金及び現金同等物	5,340,534												
現金及び預金勘定	5,536,007												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-												
現金及び現金同等物	5,536,007												

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ライブ・エンタ テインメント関連事業	メディア・ コンテンツ事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	46,140,897	2,530,392	48,671,290
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	46,140,897	2,530,392	48,671,290
セグメント利益	361,130	41,739	402,870

報告セグメントの外部顧客に対する売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は主に文化支援活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	402,870
「その他」の区分の利益(注1)	23,771
全社費用(注2)	407,757
四半期連結損益計算書の営業利益	18,885

(注1) その他は、主に文化支援活動によるものであります。

(注2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ライブ・エンタ テインメント関連事業	メディア・ コンテンツ事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	45,772,015	2,119,716	47,891,731
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	39	-	39
計	45,772,054	2,119,716	47,891,771
セグメント利益又は損失()	415,813	150,460	265,352

報告セグメントの外部顧客に対する売上高の合計額と四半期連結損益計算書の計上額との差額は主に文化支援活動によるものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	265,352
「その他」の区分の利益(注1)	8,487
セグメント間取引消去	1,590
全社費用(注2)	376,259
四半期連結損益計算書の営業損失()	104,009

(注1) その他は、主に文化支援活動によるものであります。

(注2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	6円51銭	9円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	91,644	130,475
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	91,644	130,475
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,070	14,070

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

ぴあ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉本 茂次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田村 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているぴあ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ぴあ株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。